

ときわの島 いぜな



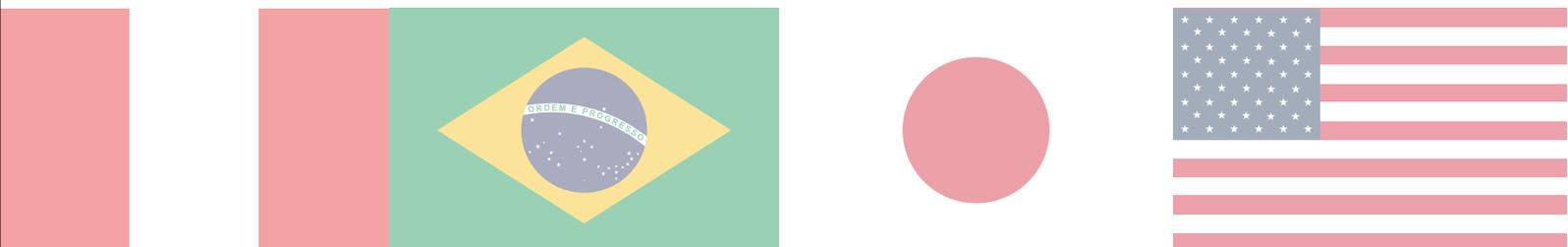
議会だより

No.
152

発行 2016年12月

第3回定例会議決結果一覧
第4・5回臨時会議決結果一覧
議会の動き
一般質問ダイジェスト
平成27年度決算認定
キラリいぜなっ子 ザ・学生II
議員・職員研修会

2
3
3
4 ~ 6
7
8
9 ~ 10



第6回世界ウチナンチュ大会 伊是名関係者歓迎会



10月25日、那覇市にあるサザンプラザ海邦において第6回世界ウチナンチュ大会伊是名関係者歓迎会があり、交流を深め、又5年後の再会を誓う。





平成28年第3回伊是名村議会定例会議決結果一覧

平成28年第3回伊是名村議会定例会は、9月13日から9月15日までの3日間で開催された。本定例会に提案された議案は19件で、うち認定8件、報告1件、陳情1件、諮問1件で、一般質問には3人の議員が登壇し村政について質問した。審議の結果は次のとおりです。

議案番号	件名	議案等の概要	議決の結果
議案第49号	平成28年度伊是名村一般会計補正予算(第3号)	歳入歳出それぞれ65,926千円を減額し、総額をそれぞれ2,625,448千円とする。	原案可決
議案第50号	平成28年度伊是名村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ10,000千円を追加し、総額をそれぞれ275,483千円とする。	原案可決
議案第51号	平成28年度伊是名村農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ3,000千円を追加し、総額をそれぞれ52,145千円とする。	原案可決
議案第52号	平成28年度伊是名村港湾整備事業特別会計補正予算(第1号)	補正後の歳入歳出予算の金額を9,338千円とする。	原案可決
議案第53号	平成28年度伊是名村船舶運航事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ26,407千円を追加し、総額をそれぞれ404,494千円とする。	原案可決
議案第54号	伊是名村防災会議条例の一部を改正する条例	災害対策基本法の一部を改正する法律の施行に伴い、本条例の一部を改正する必要があるため。	原案可決
議案第55号	伊是名村災害対策本部条例の一部を改正する条例	災害対策基本法の一部を改正する法律の施行に伴い、本条例の一部を改正する必要があるため。	原案可決
議案第56号	備品購入契約について	目的:自走式木材破砕機及び投入機購入 契約の方法:指名競争入札 契約金額:61,213,320円 相手方:(株)佐久本工機 代表取締役 佐久本嘉幸	原案可決
認定第1号	平成27年度伊是名村一般会計歳入歳出決算の認定について	歳入 4,872,638千円 歳出 4,603,079千円 繰越明許費 10,133千円 実質収支額 259,426千円	認定
認定第2号	平成27年度伊是名村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 301,819千円 歳出 291,213千円 実質収支額 10,606千円	認定
認定第3号	平成27年度伊是名村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 12,842千円 歳出 11,643千円 実質収支額 1,198千円	認定
認定第4号	平成27年度伊是名村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 69,898千円 歳出 61,902千円 実質収支額 7,996千円	認定
認定第5号	平成27年度伊是名村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 22,083千円 歳出 18,815千円 実質収支額 3,268千円	認定
認定第6号	平成27年度伊是名村港湾整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 28,505千円 歳出 27,537千円 実質収支額 968千円	認定
認定第7号	平成27年度伊是名村船舶運航事業特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 1,504,793千円 歳出 1,434,556千円 実質収支額 70,237千円	認定
認定第8号	平成27年度伊是名村育英事業特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 9,970千円 歳出 8,625千円 実質収支額 1,346千円	認定
報告第7号	平成27年度の健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	平成27年度決算に基づき算定した伊是名村健全化判断比率及び資金不足比率の報告	報告
陳情第1号	県産品の優先使用について	県産品の啓蒙啓発	採択
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	潮平そのみ氏	答申

平成28年第4回伊是名村議会臨時会議決結果一覧

平成28年第4回伊是名村議会臨時会は、10月19日の1日間の会期で開かれ、議案5件が提出された。審議の結果は次のとおりです。

議案番号	件名	議案等の概要	議決の結果
議案第57号	平成28年度伊是名村船舶運航事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ15,237千円を追加し、総額をそれぞれ419,731千円とする。	原案可決
議案第58号	備品購入契約について	目的:学校ICT推進事業(伊是名中学校電子黒板及び周辺機器整備) 契約の方法:指名競争入札 契約金額:7,538,400円 相手方:㈱エマオ 代表取締役 安次富淳子	原案可決
議案第59号	工事請負契約の変更について	建設工事請負契約金額の変更 伊是名漁港海岸人工リーフ整備工事(H28) 元契約に対する変更額:19,491,840円 変更契約額:95,502,240円 ㈱高宝建設	原案可決
議案第60号	備品購入契約の変更について	備品購入契約金額の変更 自走式木材破砕機及び投入機購入 元契約に対する変更額:5,120,280円 変更契約額:66,333,600円 ㈱佐久本工機	原案可決
議案第61号	平成28年度伊是名村一般会計補正予算(第4号)	歳入歳出それぞれ31,867千円を追加し、総額をそれぞれ2,657,315千円とする。	原案可決

平成28年第5回伊是名村議会臨時会議決結果一覧

平成28年第5回伊是名村議会臨時会は、11月30日の1日間の会期で開かれ、議案3件が提出された。審議の結果は次のとおりです。

議案番号	件名	議案等の概要	議決の結果
議案第62号	伊是名村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	沖縄県人事委員会の給与勧告、他市町村の状況等を考慮し、本村の職員の給与を改定する必要があるため。	原案可決
議案第63号	平成28年度伊是名村一般会計補正予算(第5号)	補正後の歳入歳出予算の金額を2,657,315千円とする。	原案可決
議案第64号	平成28年度伊是名村船舶運航事業特別会計補正予算(第3号)	補正後の歳入歳出予算の金額を419,731千円とする。	原案可決

議会の動き

平成28年9月～11月

- | | |
|---|--|
| <p>9月 7日(水) 議会運営委員会
13日(火) 第3回定例会(～15日(木))
21日(水) 伊是名村敬老会(議長)
北部地区商工会協議会・懇親会(議長)
29日(木) 北部広域市町村圏事務組合と公立大学法人
名桜大学との懇談会(議長) 名護市</p> <p>10月 6日(木) 第1回伊是名尚円王マラソン大会実行委員会
設立総会(議長)
8日(土) やんばるの産業まつり(～9日(日))
(議長) 名護市
11日(火) 伊平屋空港建設促進委員会総会
(議長) 伊平屋村
12日(水) 県町村議会議長会定例総会
(議長・局長) 那覇市
13日(木) 町村議会議員・事務局職員研修会
(全議員・職員) 糸満市
14日(金) 県離島振興市町村議会議長会臨時総会
(議長・局長) 那覇市
19日(水) 第4回臨時会</p> | <p>25日(火) 第6回世界ウチナーンチュ大会伊是名関係者
歓迎会(全議員) 那覇市
30日(日) 第29回いぜな88トライアスロン大会
11月 3日(木) 民族音楽「史曲・尚円」公演(全議員・局長)
浦添市
5日(土) 第4回いいな運天港いちやり場まつり
(全議員) 今帰仁村
8日(火) 第35回離島振興市町村議会議長全国大会
(副議長・局長) 東京都
9日(水) 第60回町村議会議長全国大会
(副議長・局長) 東京都
14日(月) 本部地区交通安全協会伊是名支部会議(議長)
17日(木) 町村議会広報研修会(広報委員・主事) 那覇市
20日(日) 第14回関東伊是名郷友会(議長) 東京都
25日(金) 離島フェア2016(～27日(日)) (議長)
那覇市
29日(火) 県町村議会事務局職員研究会定例総会・職員
研修会・意見交換会 in 伊是名
30日(水) 第5回臨時会</p> |
|---|--|



Q 伊是名地区内集落道を再整備せよ!



なかた つよし 議員
仲田 剛



8号線、11号線に交わる伊是名線

Q

仲田剛議員 伊是名8号線、11号線、伊是名線の3路線は、アスファルト舗装が老朽化により破損しているところが多く見られ、デコボコくぼみがあり、雨が降ると水が溜まり危険である。集落内道路は生活道路であり、早急に

A

改修できないか。
前田政義村長 村道8号線、11号線、集落後方の伊是名線の3路線については、昭和56年度から平成7年度にかけて実施した農村総合整備事業で集落道として整備した。整備後30年以上が経過

A

し、経年劣化による路面の剥離やデコボコが見られ、通行に支障を来している状況である。住民の安全性、快適性の向上の面からも整備に取り組んでいかねばならない。現在どのような方法で対処が可能なのか、検討しながら取り組んでいく。

兼元清永建設環境課長
当該道路は、農村総合整備事業で集落道として整備を行い、管理を建設環境課で行っている。主に安全確保の観点から危険箇所が生じた場合に、その都度補修を行っている。特に伊是名線については、全体的に損傷が酷く、全面改修が必要な状態ではあるが、費用が高額となるため、補助事業を活用しての改修を検討したが、当課においては仕組める事業メニューがないため、農林サイドで事業を仕組むことを調整している。

A

濱里篤農林水産課長
まず11号線については、伊是名西部地、伊是名集落と

Q

仲田剛議員 早めの改修を期待して質問を終わる。



Q 伊是名村場外離着陸場の活用をすすめよ!



な かいち
名嘉 広一 議員

Q 名嘉広一議員 伊是名村場外離着陸場は平成10年に開港され、一時は航空機による定期運航も行われていた。現在は、航空機の運航がないため休港状態となつていたものを、村当局の働きの

おかげでカーレース等の会場となり活性化しつつある。また屋ノ下原スポーツアイランド構想もあり、期待されているが、航空機等も利用した観光誘致も必要だと思うが、村長の考えを伺いたい。

A 前田政義村長 伊是名村場外離着陸場は、平成10年11月に開港し、那覇・伊是名を小型機、セスナ機が不定期で運航して、村民や観光客等、利用者の利便を図ってきたが、運航会社の事情により平成17年度以降は飛行機の運航はやっていない。その後、航空機の離発着訓練など、臨時的な使用やパラグライダー等の屋外スポーツに使用されてきた経緯があり、また平成25年度からは沖繩振興一括交付金活用してモータースポーツ支援事業として、ドラッグレース、ドリフト大会、ジムカーナのカーレース大会を実施し、観光振興に寄与してきた。航空機等を活用した観光誘致については現時点で検討してはいるが、観光関係業者が実施する場合は、その都度検討したい。また運航事業再開については新たに航空事業に参入する事業者から那覇・伊是名路線開設に向けた

支援依頼があったが、リスクが大きく断念した経緯がある。しかし航路開設については、定時運行やチャーター便等の導入等は今後も引き続き検討していく必要があると考えている。

Q 名嘉広一議員 今後とも前向きな検討をされることを期待しています。



ドラッグレース大会の様子

那覇・伊是名路線開設に向けた



伊是名村場外離着陸場視察



Q 引き続き拠点港である 仲田港の整備をすすめよ!



な 嘉 きよし 議員 名嘉清



仲田港視察

Q

名嘉清議員 村民の悲願である仲田港補完

パースの整備が今年度から勢理客地区において実施されることになり、本村の島外交通体系の大きな転換期を迎えた。大変期待され早期完成が望まれる。当然拠点港である仲田港の整備も年次的に実施し、施設の機能強化やあるいは維持保存は引き続き推進する必要がある。特に南側消波ブロックの決壊や岸壁の崩壊等災害対策が長期にわたってされて

いない。平成29年度以降の整備に向けてこれまでの取り組みと今後の整備について伺いたい。

A

前田政義村長 本年度より勢理客漁港での仲田港補完パースの整備事業が

スタートし、村経済の振興発展に大きく寄与するものと期待をしている。しかし仲田港はフェリーの母港であり、本村の拠点港であることから、引き続き安全で安心な港湾を目指し、その対策については沖繩県

に積極的に要望していく。幸い、本村が現時点で要望している仲田港の整備については平成31年度まで全ての事業が着手できる旨、県から報告を受けている。平成26年度に被災した施設の復旧、今後の整備計画については担当課長より答弁させる。

A

兼元清永建設環境課長 平成26年度の台風19号

で被災した仲田港の施設については、平成26年12月に代替地査定を行い、27年3月に入札を執行したが、不調に終わり、平成27年度へ繰越し、その後3回入札を試みたものの不調に終わった。平成26年から27年度にかけては、本島での大型公共工事の施工等により、作業船、船舶の確保が困難であったり、予定価格との乖離のため入札不調で工事契約の締結が出来ない状況が続いた。復旧工事への着手が大幅に遅れたが、このほどようやく施工業者が決まり、9月下旬より作業が開

始される。今後の整備については次の3点を進めていく。1点目、旧仲田港岸壁延伸工事であるが、本工事は前述の理由により不調が続いたが、平成29年度で予算化し、工事着工することになっている。2点目、フェリーパースの岸壁の高上げ工事であるが、フェリーいぜん尚円の就航に伴い実施されるもので、一部については就航時に完了しているが、残りの部分については平成29年度に実施設計、30年度に工事着工の運びとなっている。3点目に防波堤改良である。港内の静穏度を高め、船舶の接岸、停泊が安定的にできる対策として実施するもので、平成27年度から平成29年度までに静穏度調査及び対策工法を検討し、平成30年度に実施設計、平成31年度から工事着工の計画をしている。県としても村内の工事が途切れないよう計画的に整備を進めていくと回答を得ている。

平成27年度伊是名村一般会計及び特別会計決算認定される

平成27年度伊是名村一般会計及び各特別会計の歳入・歳出決算額は、第3回定例会(平成28年9月14日～9月15日)において認定された。内容は下記のとおりである。

● 一般会計及び特別会計歳入歳出決算額

単位：円

会計別	予算現額	決算額		歳入歳出	収納率	執行率	
		歳入	歳出	差引額	歳入	歳出	
一般会計	4,785,190,000	4,872,638,593	4,603,079,772	269,558,821	101.82	96.19	
特別会計	国民健康保険	304,039,000	301,819,696	291,213,275	10,606,421	99.27	95.78
	後期高齢者医療	12,898,000	12,842,003	11,643,863	1,198,140	99.56	90.27
	簡易水道事業	65,589,000	69,898,047	61,902,019	7,996,028	106.56	94.37
	農業集落排水事業	20,668,000	22,083,039	18,815,077	3,267,962	106.84	91.03
	港湾整備事業	28,403,000	28,505,480	27,537,450	968,030	100.36	96.95
	船舶運航事業	1,488,264,000	1,504,793,159	1,434,556,455	70,236,704	101.11	96.39
	育英事業	8,740,000	9,970,741	8,625,000	1,345,741	114.08	98.68
合計	6,713,791,000	6,822,550,758	6,457,372,911	365,177,847	101.61	96.18	

● 基金の運用状況

地方自治法第241条第1項 特定の目的のために資金を積み立てる目的で下記の基金が積み立てられ、運用している。

単位：円

基金名	26年度末現在高	27年度 増減		27年度末現在高
		増	減	
育英基金	61,793,844	3,145,000	3,050,000	61,888,844
財政調整基金	202,112,473	474,530,000	139,146,000	537,496,473
庁舎施設整備基金	5,552,112	20,015,000	0	25,567,112
土地開発基金	8,227	0	0	8,227
減債基金	90,361,035	6,009,000	0	96,370,035
災害援助積立基金	7,965,885	9,759,000	0	17,724,885
国民健康保険運営基金	3,000,000	3,041	3,000,000	3,041
尚門王の里いぜな島応援基金	11,562,901	7,483,308	0	19,046,209
過疎地域自立促進基金	25,215,542	5,132	1,162,000	24,058,674
合計	407,572,019	520,949,481	146,358,000	782,163,500

平成27年度伊是名村一般・特別会計決算審査意見書

● 収入未済額について

収入未済額は、一般会計で3,467万4千円で、前年度に比べ239万9千円(7.4%)増となっている。特別会計では国民健康保険特会が1,602万6千円で、前年度に比べ268万1千円の増、簡易水道事業特会及び農業集落排水事業特会においては未済額が1,230万1千円となっている。

育英事業特会において、246万4千円で前年度に比べ32万7千円(15.3%)増になっている。

上記のように収入未済額は、依然として多額であり、滞納繰越分に現年度分が累積になるので年々増加傾向にある。景気の低迷等から徴収業務の環境は厳しさを増していると思われるが、納税者の負担の公平と財源確保の観点から、引き続き収入未済の実態把握に努め、適切な債権管理を行い、収入未済額の解消と新たな防止策についても取り組みを強化されたい。

● 財政運営について

財政運営について、その概要を財政指数を参考にしながら捉えてみた。

(1) 実質収支比率

財政運営の確保の観点からは実質収支額が黒字であるということが必須の要件となるが、その黒字額は標準財政規模の3%~5%程度であることが望ましいとされている。

本年度の実質収支比率は21.6%で前年度15.1%から前年度比較6.5%増と過去5年間に於いて最も高くなっている。今後とも適度の収支額の確保に努められることが望まれる。

(2) 経常収支比率

この比率は、人件費、扶助費、公債費等の容易に縮減することができない経費に対し、村税、地方交付税、地方譲与税等の一般財源がどの程度充当されているかを見ることによって、

財政構造の弾力性を判断しようとする指標である。この比率の目安としては概ね65%~75%の間に分布することが望ましいとされており、比率が低いほど弾力性があることとなる。

本年度は87.7%で前年度の91.6%と比較すると3.9%と低くなっている。今後とも財政の硬直化防止と弾力性の確保に努められることを望む。

(3) 実質公債費比率

元利償還金及び準元利償還金に要する一般財源の合計額を標準財政規模で除した比率の直近3ヶ年の平均であり、早期健全化基準は25%であるが、本年度の実質公債費比率は6.6%で大幅に下回っている。

(4) 公債費負担比率

この比率は、公債費にかかる財政負担の割合を判断する指標の一つで、現実に歳入のあった一般財源と起債発行経費を含む公債費に充当された一般財源の割合を示し、団体の事情が反映される指標で15%が警戒ライン、20%が危険ラインとされている。

本年度の公債費負担比率は11%となっており、今後とも財政構造の弾力性を維持されることを望む。

● 結びに

平成27年度の一般会計から特別会計の8会計すべて黒字決算をもって翌年度に引き継いだことは、健全な財政運営、財源確保の見通し、財政収支の均衡保持等に配慮した結果である。今後とも安定した財源の確保に努め、限られた財源の中で、引き続き歳出の効率化・重点化を図り、健全な財政運営を認識し、村勢の更なる進展と村民福祉の向上増進に寄与されるよう、一層のご尽力を望むものである。

(監査委員審査意見書より抜粋)

キラリ★いぜなっ子

ザ・学生II vol.9

キラリ★いぜなっ子
ザ・学生は、学校単位で掲載することになりました。今回のキラリいぜなっ子は那覇西高校と沖縄工業高校に通う皆さんです。

那覇西高等学校 (3年生)

前川 誉仁くん(諸見)

沖縄工業高等学校 (3年生)

名嘉 祐大くん(仲田)

仲村渠英文くん(諸見)

潮平 健くん(諸見)



前川 誉仁くん

那覇西高校の前川くんは「小さい頃、テレビで見たサッカーの試合をみて、那覇西高校に憧れていました。だから高校を選ぶときに迷うことはなかったです」と高校選択に迷いはなかったとのこと。翌日に高校生活最後の大会、全国高校サッカー選手権大会の県決勝戦を控える忙しい合間をぬってお話を伺いました。「那覇西サッカー部は100名を越える

部員が切磋琢磨して大会に臨んでいます。当日になるまでベンチ入りできるかどうかははっきりしていませんが、ベンチ外でも応援して一緒に全国へ行きたいです」と話していました。「那覇西は文武両道の校風で、学校行事も体育祭などとても盛り上がりました。ぼくは体育科なので、全員3年間同じクラスでとても仲がいいんですよ」と学校と体育科の魅力について話していました。将来について聞いてみると「実はもう駿河台大学への進学が決まっています。法学を専攻するので、将来は消防士が警察官になりたいと思っています」と

実際に3人もすでに就職先が内定しているとのことでした。

「実績が評価されます」とアドバイスを送ってくれました。



名嘉 祐大くん

情報電子科の名嘉くんは「中学の頃はソフトテニスをしていましたが、高校からは釣り同好会に入りました。沖縄工業は、専門知識も身に付きましたし、学校行事もたのしかったです。」と話していました。学習面で話を聞くと、成績は情報電子科でトップだと言っていました。卒業後について聞いてみると「関電工への就職が内定しているの、来年4月からは茨城県で研修です。とても楽しみにしています」と話しており、後輩に向けては「高校を選ぶ際に進学や就職などを選んだ方がいいと思います。それから部活動は頑張ってください。勉強だけでなく部活動も一生懸命だったとい



仲村 渠英文くん

同じく情報電子科の仲村くんは「やはり就職率の高さが魅力でした。沖工のパンフレットで知って決めました。普通校に行っても手に職は付かないですし、情報電子科では第2級陸上特殊無線技士と第2級海上特殊無線技士の資格がとれます。寮があることも魅力でした」と魅力を話してくれました。卒業後は「神奈川県にある共和テクノという会社が決まっています。今から楽しみですね」と話してくれました。伊是名の後輩に向けて「ぼくは「中学を卒業したら島で遊べなくなる。今のうちに楽しんで思い出をつくってほしい。親への感謝をわすれないこと」とメッセージをくれました。



潮平 健くん

土木科の潮平くんは「就職率が魅力で入学しました。ウエイトリフティング部に所属していました。高校総体のでも3位に入賞しました。部活を引退したら体重が7キロも落ちてしまいました」と話していました。学校行事については「今年は沖工祭がありました。ぼくのクラスはお付け屋敷を運営してとても楽しかったですよ」と話していました。卒業後は「那覇市内の鏡原組に就職が内定しています。がんばります」と力強く話していました。伊是名の後輩に向けて「ぼくはイケメンでリーダーシップもあって頭脳明晰、スポーツ万能ですが笑、親への感謝は忘れないでほしいです」と冗談交じりにエールを送っていました。

3人に沖縄工業高を選んだ理由を聞くと3人とも「就職率の高さ」を挙げていて、

活動も一生懸命だったとい

ました。

ました。

第35回 離島振興市町村議会議長全国大会

第60回 町村議会議長全国大会

第35回離島振興市町村議会議長全国大会が11月8日、東京において開催された。

これまで離島地域奄美群島、小笠原諸島並びに沖縄地域のそれぞれの振興計画に基づき各種施策を強力に展開しているが、しかしながら厳しい自然的、社会的条件の下、医療や福祉、教育等のあらゆる面において本土との間に大きな格差が生じていることや多くの離島市町村において、人口減少や高齢化に歯止めがかからず過疎化が進行すると共に基幹産業である農林水産業は停滞するなど、離島をめぐる現状は依然として厳しい状況にあることから14項目の決議と離島航路・航空路支援法の早期制定を求める特別決議が採択された。又、14項目の要望書が提出された。

翌日の9日には、「地方創生の実現をめざして」をテーマに第60回町村議会議長会がNHKホールで開催され、安倍晋三内閣総理大臣をはじめ多くの政界関係者が参集された。

国と地方が一体となって、本格的な復旧・復

興への取り組みを加速化させるとともに、人口減少の克服と地方創生を実現するためには、町村の自治能力を高め都市と農村、漁村が「共生」しうる社会を強力に進めていく事が重要であり、国においては、一億総活躍社会の実現に向けた取り組みが行われているところではあるが、地方創生こそが一億総活躍社会実現のためのメインエンジンであり、地方創生に向けた大きな流れを緩めてはならない、まさに地方創生なくしては一億総活躍社会の実現はない、地方創生の実現をめざし、一致結束して果敢に行動して行くことを宣言し、開会されると17項目の決議が提出され、満場一致で採択され、又、5項目の特別決議が提出されて採択された。その他に要望書が各地区要望書も含めて34項目提出された。

〈出席者〉

- ・副議長 前田 清
- ・局長 高良 静代



第35回 離島振興市町村議会議長全国大会



第60回 町村議会議長全国大会

沖縄県町村議会事務局職員 定例総会・職員研修会

沖縄県町村議会事務局職員研究会の定例総会・職員研修会が11月29日に伊是名村産業支援センターにて開催され、25町村45人が来村し、行政視察を終えた後、定例総会・職員研修会が行われました。



行政視察の様子(御庭公園)



見送り



研修会の様子

編集後記

村民の皆様、こんにちは。
私共広報委員は、皆様方に読み易く、親しみ易い広報誌をお届け出来るよう日々精進しておりますが、いかがでしょうか。
11月17日、県議長会の広報研修会に参加いたしましたが、他の市町村の広報の取り組みに触れ、大

変勉強になりました。

これからも引き続き広報活動に努めて参りますので、議会だよりに対するご意見・ご感想などがございましたら是非ご一報下さい。

議会広報委員 潮平そのみ

